

業務の新聞

第42号 2019年 6月 8日

「変革2027」について

2019年度営業関係施策（その2）の提案を受けました。支社提案理由には①グループ経営ビジョン「変革2027」に基づき②グループ一体で③お客様の信頼に応える④効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築する⑤鉄道を中心とした輸送サービスを質的に変革する⑥進化・成長させるとあります。

みなさん！

「変革2027」と言わされたら全てOKだと思っていませんか？疑問を持つのはNGだと思っていませんか？

なぜ現状をかえるのか、何処の何が問題であり克服すべき課題なのか、会社経営陣が提起しているから“全て正しい”“鵜呑み”で、わたしたちは済ませません。現実の検証と提案内容の検討・精査を職場の仲間たちと愚直に行っていきます。

私たちは、ここが大きなポイントだと考えています。

なぜなら、JR東日本会社を始めグループ会社に働く多くの『なかもたち』がいるからです。そして『お客様』『地域の皆様』がいらしゃるからです。

会社提案の後段には、①当社グループの全社員が主役②働きがいを創出③持続的成長につなげる④「仕事を通じた達成感・充足感」「職場環境の改善」⑤当社グループの社員・家族の幸福を目指すとしています。

JR東日本のすべての職種において「変革2027」「2020オリ・パラ」などなど大きく掲げた目標を実現するには、デスクとPCだけではない“ヒトの知恵と力”が不可欠です。

多くの先輩たちに学んできた私たちのチカラを示すアキダレ老ヲキオ

おもいつくままに

東日本ユニオン中央本部は、2019年度夏季手当のたたかいの勝利に向けて、JR東労組、国労東日本本部、新鉄労組、JREユニオン、JRひがし労の5つの労働組合にエールを送りました。JR労働者の利益を守り、正当な成果配分を経営側に要求し、その実現に向けてともにたたかおう！というものです。ともにがんばりましょう！

現在この会社では、労働組合に加入していない『労働者』が多くいらっしゃいます。その中には「組合費を払わない分賃上げになった」と冗談を言う方もいるようです、本当にそのように思っている方がいるとすれば、私たちは、ゆっくり時間をとってその方と話がしたいと思います。

様々な考え方や生き方があるのだと思います。会社経営側も“多様的”という表現を用いていますし施策にも反映させようとしています。しかし残念ながら、その幅は言うほど広くはないようで心配でなりません。

ついでに前に、世界に冠たる鉄道会社を目指すとおしゃった方がいました。鉄道は多くの“ヒトの手”を必要とする業種です、仲間たちとその家族の幸福を実現するために、一つひとつ課題をクリアしていきましょう！

ダイヤ改正の検証！

地本業務部は、3月ダイヤ改正の検証を取り組みます。

皆さんのお声をもとに各職場の問題点・改善点などを“申し入れ”とつくり上げ、「より良い職場」「より良い会社」を創造するために協力をお願いします。